

はばたき

橋北小学校
学校だより

No.3

学校づくりビジョン号
令和4年5月24日

5月2日からの家庭訪問は、希望家庭ではありましたが、実際にお顔を合わせて直接お話しを伺うことができない貴重な機会になりました。また、5月9日、12日の授業参観には多くの保護者の方にご参観いただきました。廊下からの参観で、十分にお子さんの様子を見ていただくことが難しく、ご不便をおかけして申し訳ありませんでした。次回の授業参観は、6月6日(4~6年)、6月10日(1~3年)です。授業参観後に学級懇談会を行いますので、ぜひ学校に足をお運びいただきたいと思います。お忙しい中ではありますが、ご協力よろしくお願いします。

◆令和4年度 橋北小学校学校づくりビジョン

令和4年は、変化の大きな時代に対応できる力をつけていくことをめざし、学校教育目標を「自分や生活をよりよくするため、自ら考えて行動する子の育成」に改定しました。

また、学校教育目標をふまえ「スーパー橋北っ子」もリニューアル。新しくなった「スーパー橋北っ子」とはどんな姿なのかを、全ての学年で集会の時間をとり、子どもたちと一緒に考えました。どの学年の子ども、しっかりと話を聞いて、考えて発表していました。

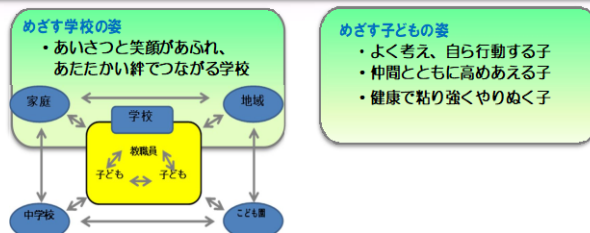
行事や学習など学校の活動を通じて「できるようになるために自分で考えて動ける子」「めあてをもって取り組み、ふりかえり、前よりもよくなっていく自分に気づける子」そんな子どもたちを育てていきたいと考えています。



令和4年度

橋北小学校学校づくりビジョン

学校教育目標：自分や生活をよりよくするため自ら考え行動する子の育成



取り組みの重点と主な方策

重点1 確かな学力の定着

- 読解力・表現力の育成
 - ・知識・技能を活用する授業
 - ・「読む力」「話す力」「伝える力」の向上
- 問題解決能力の向上に向けた授業づくり
 - ・めあて・振り返りを大切に授業
 - ・言語力を高め、共に問題を解決する授業
 - ・家庭学習・自主学習の習慣化
- ICT活用による情報活用能力の育成
 - ・ICTによる授業改善
 - ・プログラミング教育の推進
 - ・情報モラル教育の推進

重点2 豊かな心の育成

- 温かい心で支え、認め合う仲間づくりの推進
 - ・人権感覚・自尊感情を高める活動
 - ・「考え・議論し、行動する」道徳の授業
- 夢や志の実現に向けたキャリア教育の推進
 - ・「スーパー橋北っ子」基づく、よりよい学校生活を自ら作り出す活動(委員会活動)
- 読書活動の推進
 - ・身近に本がある環境づくり
 - ・家庭・地域と連携した読書習慣定着の取り組み

重点3 健やかな体づくり

- 健康・安全意識の向上の推進
 - ・学びを支える体づくり
 - ・家庭と連携した生活リズムの定着(「早ね、早起き、朝ごはん」「ゲーム時間」「歯みがき」)
 - ・危機回避能力の育成
- 体力向上をめざした取組の推進
 - ・めあてを持って取り組む体育的行事の推進
 - ・楽しく運動量のある授業づくり

重点4 地域とともにある学校づくり

- 家庭・地域との連携・協働による教育活動の推進
 - ・地域の資源や地域人材を活用した体験活動の充実(コミュニティスクール)
 - ・橋北中学校区3校圏の連携した取り組み(学びの一体化)
 - ・学校・学年だよりやホームページ等による積極的な情報発信および地域や保護者からの情報受信
 - ・家庭・地域とのデジタル連携の推進
- 家庭・地域と連携した防災学習の推進
 - ・命を守る防災教育の推進

重点5 学校教育力の向上

- 教職員の資質・指導力向上
 - ・カリキュラムマネジメントによる教育課程の改善
 - ・高学年一部教科担任制による専門性の共有
 - ・特別支援教育の充実
- 学校業務の適正化による働きやすい学校づくりの推進
 - ・チーム学校による組織的対応の充実
 - ・業務改善(簡素化・効率化)の推進



** 子どもたちと確認した「スーパー橋北っ子」の姿 **

- ◇ あいさつ名人・・・すすんであいさつできる子
元気に 明るく 大きな声で
いつでも 誰にでも 自分から
- ◇ 聴き方名人・・・しっかりと聴ける子
相手の方を見て うなずきながら
耳をかたむけて 最後まで聴く
- ◇ きりかえ名人・・・しっかり授業に向かえる子
集中 チャイム席 いい姿勢 忘れ物しない
遊ぶときは遊ぶ、やるときはやる 授業のルールを守る
- ◇ まかせて名人・・・自分の役割を 責任をもってできる子
当番や係、委員会などの仕事を責任もってする
失敗してもあきらめない 放りっぱなしにしない 最後までする
- ◇ ふりかえりを活かす名人・・・ふりかえりを次に活かせる子
より高いめあてに向けて取り組む できなかったことをできるように
何回もやってみる よりよい選択ができる 失敗してもあきらめない



◆ たて割り掃除「ピカピカタイム」

クラスを超えて、縦割り班で掃除を行う「ピカピカタイム」の取り組みを進めています。高学年一人ひとりが「担当場所のリーダー」という意識を持ち、下級生に手本示し、よりよい掃除ができるよう考えて行動します。

まずは、5、6年生で集会を行い、縦割り掃除のねらい、教室や廊下などの掃除の仕方を確認しました。どの子も、高学年らしく自覚を持った姿勢

で話を聞いていました。その後、掃除メンバーとの顔合わせをしました、自己紹介をした後、掃除の仕方について上級生から説明をしました。

「ピカピカタイム」の取り組みを通じて、今年のスーパー橋北っ子のめあてでもある「まかせて名人」「ふりかえりを活かす名人」を育てていきたいと考えています。



令和4年度 第1回橋北小学校コミュニティスクール運営協議会 開催

コミュニティスクールとは、地域や家庭と「学校づくりビジョン」を共有し、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育み「地域とともにある学校づくり」を進める取り組みです。5月2日の第1回運営会議で「学校づくりビジョン」の承認をいただき、ビジョンにむけて本格的な活動が始まりました。

これまで控えざるを得なかった行事や学校活動、「橋北小すくすくサポート」などの地域の皆さんとの活動も、実施できるところはできるだけ行い、子どもたちに活動を通じて豊かな経験をしてほしいと考えています。今後も委員の皆さんのご協力をいただき、よりよい学校づくりのため、コミュニティスクールの活動を推進していきます。